

公益社団法人天童青年会議所 2021年度 事業計画書

将棋のまち創造委員会

委員長：片桐 一樹	委員：川股 隆宏
副委員長：関東 英之	委員：三宅 秀典
幹事：近藤阿由良	委員：今野 未菜
	委員：塩入 孔志
	委員：渋谷 祐信
	委員：野口 賢吾

<事業名>

1. 第42回全国中学生選抜将棋選手権大会（第23回女子の部）の開催及び県、地区予選会への協力
2. 全国中学生選抜将棋選手権大会のさらなる発展を目指した運営の模索
3. 将棋関連事業全般への協力
4. 天童桜まつりへの協力（天童桜まつり関連事業への参加を含む）
5. 全員で取り組む会員拡大の実施
6. 関係各種諸団体との連携
7. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
8. SDGsの推進と活用
9. その他

<基本方針>

新型コロナウイルスの影響による新しい生活様式の適応が求められる現在において、将棋は場所と時間を選ばずに触れ合える文化として、幅広い年代から注目されています。将棋に接する選択肢が多様化している今こそ、天童のたからである将棋の様々な魅力を多くの市民に認知してもらう必要があります。

まずは、将棋が地域の重要な資源であると市民に理解を深めてもらうために、「青少年の健全育成」「将棋人口の拡大」「地場産業の発展」を理念に全国中学生選抜将棋選手権大会を開催します。そして、いかなる環境下においても伝統ある本大会を今後も継続するために、これまでの経験を活かしながら時代に即した運営方法を模索します。さらに、将棋を通したまちづくりをより効果的に推し進めるために、関係諸団体と連携を強め、天童桜まつりをはじめとした将棋関連事業へ協力してまいります。

豊富な将棋の魅力が市民に親しまれ、将棋の聖地としての地位が確かなものになり、地域の人びとが愛着と誇りを持った活気あふれる「将棋のまち天童」を創造します。

<事業概要>

1. 第42回全国中学生選抜将棋選手権大会（第23回女子の部）の開催（例会）
＜通常開催が困難な場合は、※の開催方法に変更になる場合があります。＞

（通常開催の場合）

日 時：2021年8月2日（月）・3日（火）・4日（水）

場 所：ほほえみの宿 滝の湯

（※オンライン開催の場合）

日 時：2021年8月2日（月）・3日（火）・4日（水）

場 所：各県支部（予定）

- 1-1 交流事業の企画・運営・実施（通常開催の場合）

日 時：2021年8月3日（火）

対象者：大会出場選手

内 容：会場内で行う選手同士の交流事業（予定）

交流事業の企画・運営・実施（※オンライン開催の場合）

日 時：2021年8月3日（火）

対象者：大会出場選手、プロ棋士（予定）

内 容：選手とプロ棋士とのオンライン交流事業（予定）

- 1-2 上記大会の県、地区予選への協力

＜通常開催が困難な場合は、日本将棋連盟山形県支部、天童支部と協議の上、開催方法が例年と変更になる場合があります。＞

- ・第42回全国中学生選抜将棋選手権大会 天童地区予選
- ・第42回全国中学生選抜将棋選手権大会 山形県予選

2. 全国中学生選抜将棋選手権大会のさらなる発展を目指した運営の模索

- 2-1 運営の継続・実施（通常開催の場合）

- ・礼を重んじる大会
- ・天童市内中学生から運営面での協力をいただく
- ・大会歴史垂れ幕の展示

運営の継続・実施（※オンライン開催の場合）

- ・礼を重んじる大会
- ・大会をオンラインで発信

- 2-2 発展を目指した運営の模索
 - ・実行予算の精査
 - ・協賛金収集の精査
 - ・運営マニュアルの精査
 - ・市民に広く知れ渡る大会情報の発信
 - ・将棋に関わる情報の発信
3. 将棋関連事業全般への協力
 - ・天童市民将棋大会・大山杯争奪将棋大会等
4. 天童桜まつりへの協力（天童桜まつり関連事業への参加を含む）
 - 4-1 将棋の女王コンテスト運営の協力
 - 日 時：2021年4月（予定）
 - 場 所：天童ターミナルビル「パルテ」
 - 内 容：審査会運営補助
 - 4-2 人間将棋関連事業への協力
 - 将棋の魅力に触れるコーナーの実施（例会）
 - 日 時：2021年4月17日（土）・18日（日）
（第66回天童桜まつりにて実施）
 - 場 所：天童市市民文化会館
 - 対象者：一般市民、メンバー
 - 内 容：将棋が持つ魅力に触れ合えるコーナーの設置・運営（予定）
5. 全員で取り組む会員拡大の実施
6. 関係各種諸団体との連携
7. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
8. SDGsの推進と活用
9. その他

<年間スケジュール>

別紙にて

<予 算>

別紙にて

<年間テーマ>

大胆な変化に腹をくくれ

<委員長コメント>

将棋のまちの一員として自分のまちを誇りに思い、1年を共に駆け抜ける仲間に敬意を払い、歴史あるこの役職をお預かりすることに感謝をし、最後まで責任と覚悟を持ってやり遂げます。